

ジャーナリストの恵隆之介氏が言及

平成9年に一坪地主対策で実績 重要な国防問題を地方に丸投げ？

ジャーナリストで拓殖大学客員教授の恵隆之介氏は普天間の基地移設問題について、①この問題が頓挫しているのは海岸の埋め立てと使用権限を知事が握っているから、②いまの沖縄の言論空間は左翼が支配しているので保守系の知事が誕生しても期待するのは無理、③極めて重要な国防問題を地域に丸投げするのではなく国が特別措置法で一挙にやるべき、④この特措法については平成9年に実例がある一などと語った。

このほど出演したチャンネル桜の番組「防人の歌 今日の日自衛隊」の番組の中で語った。氏が指摘した前例とは平成9年、いわゆる一坪反戦地主2968人(総面積0.2ヘクタール)が契約を拒否して使用権原消滅に伴う法的空白状態が生まれそうになった際の「駐留軍用地特別措置法(特措法)の改正案」を指す。(ニュース調こまで)

チャンネル桜が良い番組を提供してくれています。このニュース扱いとした恵隆之介氏のほか、[たちあがれ日本の平沼赳夫氏](#)、ちょっと前には沖縄の「牛島大将と長参謀長の自決の様子」なども放映してくれましたね。で、この平成9年当時に特措法が成立した際、恵氏が世界週報に寄せた「見過ごせない沖縄反戦基地運動の実態」がネットで公開されていますので、その中から骨子を抜粋して以下で紹介致します。



10月16日には沖縄の集会に出席するという平沼赳夫氏。

見過ごせない沖縄反戦基地運動の実態

政府の抜本的政策が急務

恵 隆之介

駐留軍用地特別措置法(特措法)の改正案が賛成多数で衆議院を通過し、懸念されていた契約拒否地主所有地の使用権原消滅に伴う法的空白状態はひとまず回避された。とはいえ、沖縄問題は今年秋に行われる日米防衛協力のための指針見直しの際にも、政党間の駆け引きに利用されるであろう。このため、沖縄の反基地運動の実態や県の実情を国民は正確に知るべきである。

米軍用地の使用権原消滅による法的空白状態を生じせしめる発端となった、大田沖縄県知事による米軍基地強制使用に関する代理署名拒否(1995年9月28日)は、その24日前に発生した米海兵隊員による沖縄女児暴行事件が主因とされてきた。しかし、真相は別のところにある。吉元沖縄県副知事は昨年11月、その真相について重大な発言をしているのだ。

「大田知事が代理署名を拒否したのは米海兵隊員による少女暴行事件が主因ではなかった。95年2月に『ナイ・レポート』で発表された米軍アジア兵力10万人体制に対する反発であった」

この発言は、[中国](#)福建省関係者を那覇に招待して行われた「沖縄福建サミット」の席上でなされた、仮にこの発言の真意がアジアにおける米軍の存在に否定的な[中国](#)へのリップサービスであったとしても、1億2000万国民の安全保障の根幹にかかわる問題を、こう安易に利用させていいものだろうか。(中略)



国が特別措置法を制定して一挙にやるべき、平成9年にも特措法で乗り切ったケースがあったと語る惠隆之介氏

反基地運動の一部にチュチュ思想の影

そこでこの一坪反戦地主について言及したい。

沖縄で米軍に用地を提供している地主は、約3万2000人余人がいるものの、既に2万9000人の地主は再契約を終えている。残った3085人が契約を拒否しているが、そのうち2968人がいわゆる一坪反戦地主といわれる集団である。これらの地主の土地は合計してもわずか0.2ヘクタール。一人当たりの所有面積は30センチ四方から95センチ四方にすぎないのだ。しかも、その半数近くが本土に在住している。

実は72年の沖縄復帰の際に約3000人いた在来の反戦地主は82年には百数十人に激減しており、沖縄における米軍用地契約拒否闘争は風前の灯となっていた。そこで生まれたのがこの一坪反戦地主である。

昨年7月3日、大田知事は本土から視察にきた国会議員に「地主総数でごくわずかな一坪反戦地主に加担するのは民主主義のルールに反するのではないか」と質問された。そのとき知事は「平等原則に照らせば数の大小ではない」と反論している。

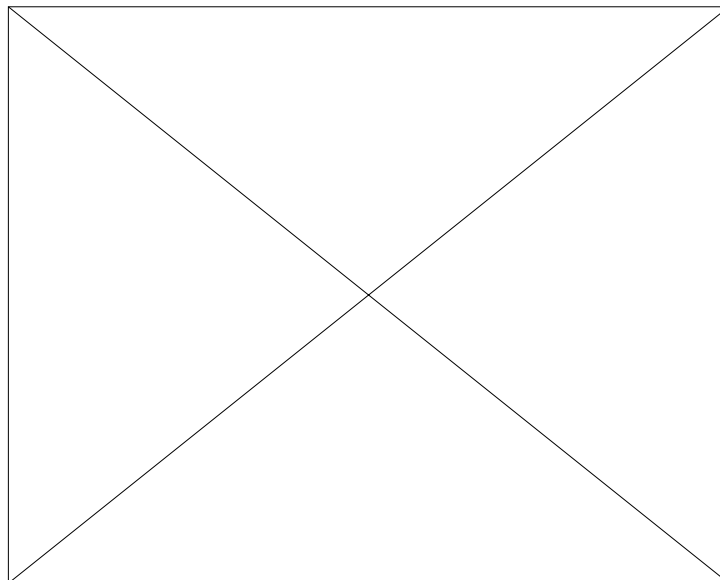
また昨年8月28日、沖縄県は「代理署名職務執行命令訴訟」の敗訴を不服として最高裁に上告したものの全面敗訴した。この結果に対し、一坪反戦地主代表世話人の新崎盛暉沖縄大学教授は「裁判は権威があるとか中立なところに判断してもらうのではなく、闘いの場として選び取っていくべきだ」と明言している(昨年8月31日付『琉球新報』夕刊)。これらの発言は、現代の法秩序に対する彼らの考え方を端的に示している。

ところで、軽視できないのが県民投票推進協議会議長など反基地運動の指導的役割を務め、一坪反戦地主でもある沖縄大学教授の佐久川政一氏の存在である。佐久川氏は「チュチュ思想研究会全国連絡会会長」という肩書きを持つ[北朝鮮](#)礼賛派の全国的主要メンバーの一人でもあるのだ。

駐留軍用地特別措置法に基づく裁決申請に関する第一回公開審理(2月21日)で、反戦地主会会長の照屋秀伝氏が発言した内容と、この一年前に佐久川氏が千葉県教育会館で開かれた「チュチュ思想と日朝友好に関する全国セミナー」で発言した「在日米軍をはじめアジア太平洋地域に駐留している米軍の銃口は朝鮮に向けられています…」(『チュチュ思想』96年3月号)という内容に類似する。

さらにこの公開審理のとき、会場には[韓国](#)民主主義民族統一全国連合米軍基地対策委員長ら、韓国で反米、反基地運動を推進する活動家43人が傍聴しており、また最近の北朝鮮中央放送は「沖縄住民が反対する特措法改正は橋本首相の対米屈従を示している」と批判している。

このように、沖縄反基地運動は単なるローカルの運動では決してないのだ。



コメント欄でご指摘頂いたので掲載。中川八洋氏、
四年前に見事に今日の事態を予想しています。
34分過ぎから尖閣問題に入ります。

補助金を有効に活用できない沖縄

昨年8月から頻繁に行われた官邸と沖縄県庁の直接交渉の結果、沖縄県庁に比類のない政治力が集中している。「沖縄県知事は官房長官と、副知事は官房副長官と同格」と揶揄されるばかりか、従来、県政の冷却機関的存在であった県内財界でさえ、県庁に意見を同じくするようになっていく。

また、最近沖縄では独立論がささやかれるようになり、従来反基地運動に中立的立場をとっていた県内識者でさえ、基地縮小、とくに海兵隊削減を発言し始めている。

反基地運動の担い手である県市町村の労組についても実態を述べる。

沖縄の市町村行政の特徴は、これら労組の意見が強いため、人件費等の固定費比率が硬直化して地域開発などの事業が困難になっていることだ。また、県内各市町村の行政面積は基地面積を減じなくても47都道府県中最下位に近く、しかもそれらが競って箱物を造り、地域エゴを強調するため広域的な地域開発が不可能になってきた。

沖縄に視察に訪れる各政党の幹部は、この結果だけを見て「沖縄にはさらなる沖縄振興策が必要」と発言しているが、従来のようなつかみ金のばらまきの施策では、沖縄はいつになっても補助金の有効活用ができないのが実態だ。しかも沖縄県知事や労組は相変わらず行政の怠慢を基地問題に転嫁し続けている。

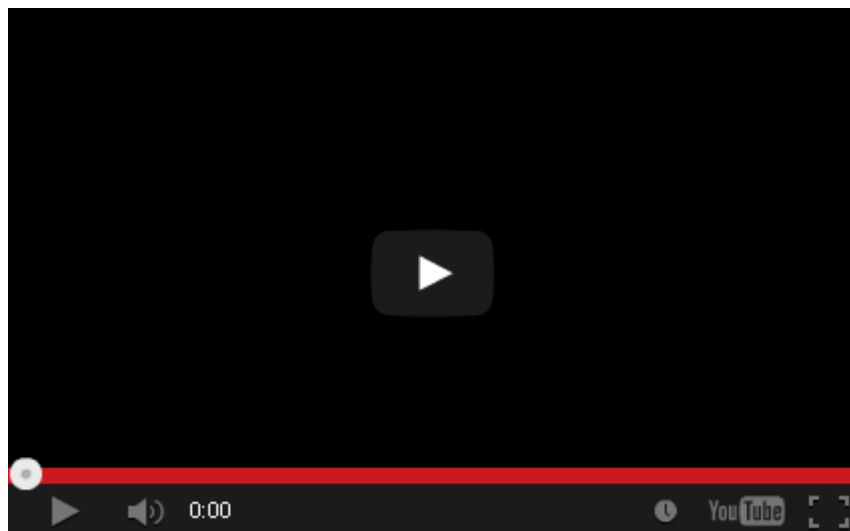


このままでは沖縄県経済は瓦解するのではないだろうか。戦前は主要産業もなく、住民は本土への出稼ぎか海外移民へ出て行かざるを得なかった。そのため戦前の人口はピークで59万人で推移していたものが、戦後は基地ができたため、その雇用効果と高率補助の結果、人口は現在127万人台に達している。とくに72年の沖縄復帰を境にして、人口は33.4%増え、失業率も同期間比較で4.2ポイント増大して7.2%(本土3.3%=昨年9月現在)となっている。

ところが、この高率補助に甘えて県民の生産意欲は減退し、農業や漁業をはじめとして、近年あらゆる生産活動が右肩下がりになっているのだ。このため、年々約5.5%上昇する軍用地借料などの基地関連受け取りが再び沖縄経済のシェアを拡大しつつある。

県は2015年までに基地を全面撤去し、ノービザ制度などの一国二制度を柱とする国際都市構想の実現をもって経済自立化を図ると主張している。ところが、復帰25年間、復帰特別措置や沖縄振興開発法による特例で、本土企業との競争にさらされなかった地元企業は、果たしてその時、存続できるのだろうか。

それにもまして、復帰25年間に沖縄振興開発費だけでも合計4兆2943億円に上る補助を受け続けてきた県民自体が、アジアから押し寄せる労働者に職を奪われることになりはしないだろうか。「世界週報」1997(平成9)年 5/6-13(合併号)から。



8分10 秒くらいから岡崎トミ子問題の追及がはじまります。

尖閣諸島と、尖閣諸島の漁業関係者の生活を守るため、
国会請願署名にご協力をお願いします(バナークリック)。



- ・自虐史観を吹き飛ばす映画「凧として愛」の拡散にご協力下さい。
- ・DVD資料については愛国女性のつどい花時計さんへ
- ・お知らせ「凧として愛」のチラシが完成しました。是非ご覧下さい。

これが正しい歴史、日本が好き日本人は必見！

- ニコ動画版 凧として愛 [1/3](#) [2/3](#) [3/3](#)
- you tube版 凧として愛 [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#)
- 注目・名作映画 氷雪の門 [1/3](#) [2/3](#) [3/3](#)
- 誇り～伝えよう日本のあゆみ～ [1/3](#) [2/3](#) [3/3](#)
- めぐみ (日本語) [1/3](#) [2/3](#) [3/3](#)
- 日本がアジアに残した功績
- 真実はどこに・・・



カテゴリ: 政治も フォルダ: 指定なし   

コメント(5)

タグ: 普天間基地 沖縄県知事 特措法 一坪反戦地主 恵隆之介 今日の自衛隊 世界週報

コメント(5)

コメントを書く場合はログインしてください。



Commented by **花うさぎ** さん
・イベントガイド 第5回日本文明論シンポジウム

2010/10/15 09:27

日本の底力-匠の技と伝統の心

式年遷宮、宮大工、老舗企業、町工場ー。
「技術立国日本」を支えてきた職人の技と伝統の心、今に伝わる“日本文明の底力”を明らかにする210分。

《パネリスト》

河合真如 氏 (神宮司廳広報室次長)
塩野米松 氏 (作家・聞き書きの名手)
野村進 氏 (ジャーナリスト・拓殖大学教授)
橋本久義 氏 (政策研究大学院大学教授)

《コーディネーター》

伊藤隆 氏 (東京大学名誉教授・育鵬社歴史教科書編集会議議長)

◆日時◆ 10月31日(日)

13時30分開会(13時開場)17時00分閉会予定

◆会場◆ 東京商工会議所ビル東商ホール

(〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-2 東京商工会議所ビル4F)

http://www.tokyo-cci.or.jp/side_m/gaiyo/tizu.html

【地下鉄】〈三田線 日比谷駅〉〈千代田線 二重橋前駅〉〈有楽町線 有楽町駅〉⇒B7出口 徒歩2分 〈日比谷線 日比谷駅〉⇒徒歩8分(B7出口が便利です) 〈丸ノ内線 東京駅〉⇒徒歩10分

【JR】〈有楽町駅〉⇒徒歩5分 〈東京駅〉⇒丸の内南口徒歩10分 〈京葉線 東京駅〉⇒丸の内口徒歩5分

◆定員◆ 600名(先着順) なお、席に限りがありますので、お早めにご予約をお願いします。

◆参加費◆ 2,000円(当日会場受付にて、お支払いください)

◆主催◆教科書改善の会 <http://kyoukashokaizen.blog114.fc2.com/>



Commented by **花うさぎ** さん
・ニュース

2010/10/15 14:05

日本の右翼団体3000人が中国大使館“包囲攻撃”計画…中国報道

中国のニュース・サイト、環球網は15日、「日本の右翼団体が3000人による駐日本中国大使館の“包囲攻撃”を計画」とする記事を配信した。

田母神俊雄前航空幕僚長が会長を務める「頑張れ日本！ 全国行動委員会」が16日

(土)に予定するデモ「中国大使館包囲 尖閣侵略糾弾！ 緊急国民行動」を指し、「右翼保守団体の行動。同団体は書面やインターネットで多くの人が参加するよう、煽動している」などと紹介した。

同委員会は、デモ隊による中国大使館の「包囲」を呼びかけたが、環球網はカッコつきで「包攻(包囲攻撃)」と表現した。中国では他のニュース・サイトも、同記事の転載を始めた。

環球網の記事に対して、日本人は島国根性と非難したり、問題を作るのは日本側などとのコメントが殺到した。「目には目を」として、中国国内の日本側施設の攻撃を示唆したり、国交を断絶せよと主張するなど、激しい反感を示す書き込みもある。(編集担当：如月隼人)

http://news.searchina.ne.jp/disp.cgi?y=2010&d=1015&f=national_1015_108.shtml

・何で3000人という数字が出るの？皆さん、我々は右翼団体だそうですよ。せめて「生卵」くらい持参するかな(^^)。



Commented by **keroyon** さん

花うさぎさん、こんにちは。

2010/10/15 15:46

沖縄の問題は一言で言えば、反戦・基地闘争を利用した反日・左翼利権集団との闘いということになるのですが、実態はかなり複雑でかつ根深いので、一般人には本当のところを理解するのがなかなか難しいのが実情です。そんな中、花うさぎさんが適宜アップして下さる関連エントリーは初めて目にするものも多く、沖縄の真実の歴史、沖縄の保守の活動、そして反日左翼の実態を理解するのにとても助かっています。ありがとうございます。

明日のシナ大使館デモ、まさか在日シナ人もなんらかの対抗措置をしてくるとかないでしょうね。私もデモや集会に参加したいのですが、ちょっと持病があり(これは別に民主のせいではないです)、思うように外出できないことが多く、なかなか参加できないのが残念です(渋谷での街宣は近いので、時々聴きに行っています)。明日デモに参加される皆様、くれぐれも左翼、シナ人にはお気をつけて、日本のために宜しく願いいたします。



Commented by **花うさぎ** さん

To keroyonさん こんにちは。

2010/10/15 16:17

> 沖縄の真実の歴史、沖縄の保守の活動、そして反日左翼の実態を理解するのにとても助かっています。ありがとうございます。

いえいえ。悪いことに「沖縄発」の情報が左翼系の捏造報道ばかりですからね。ネットが普及してようやく真実が少しずつ見えてきた、という段階でしょう。

> 明日デモに参加される皆様、くれぐれも左翼、シナ人にはお気をつけて、日本のために宜しく願いいたします。

万が一、ヤクザまがいの支那人が出てきて、けが人が出る乱闘になったらニュース性は高まりますね。いや、別にそれを望んでいる訳ではないのですが(^^)。



Commented by **花うさぎ** さん

・お知らせ

2010/10/15 16:19

【緊急拡散】JSN■請願署名で尖閣・沖縄への自衛隊緊急配備を実現しよう！

<http://blog.goo.ne.jp/jiritsukokka/e/3431096910c7baeaaa10896ac7852594>

尖閣への自衛隊配備を求めてJSNでも請願署名集めが始まりました。こちらもよろしく願い致します。